

2021.7.28

2021年6月のスタートアップ雇用指数「WANTEX」は過去最高値に迫る勢いで回復
 緊急事態宣言のスタートアップ経済への影響が弱まったか(前月比+0.36ポイント)
 デジタル人材ニーズでは人材・福祉業界が大きく回復
 業種別では過去最高値に迫る業界も



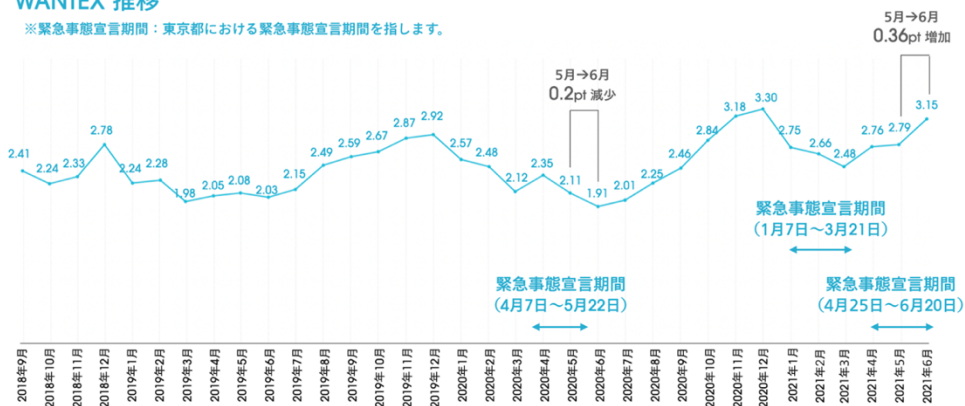
ビジネス SNS「Wantedly」を運営するウォンテッドリー株式会社は、2021年6月版のスタートアップ雇用指数「WANTEX」（Wantedly Job Market Index、読み：ウォンテックス）を公開しました。

3ヶ月連続回復。6ヶ月ぶりの3ポイント超を記録

WANTEXは東京都が1回目の緊急事態宣言を発出した2020年4月~5月から増加し続け、2020年12月には過去最高値を更新しました。しかし緊急事態宣言が再度発出された2021年1月からは下落が続き、2021年4月には4ヶ月ぶりに回復に転じました。5月度から6月度にかけての変動について昨年と今年を比較すると、宣言解除後の2020年6月は0.2ポイント減であるのに対して、今年は緊急事態宣言継続中であるのにも関わらず、2021年6月は0.36ポイントの大幅増となり、緊急事態宣言によるWANTEXの減少傾向は2020年3月で止まり、過去最高値に迫る勢いで増加を続けています。

WANTEX 推移

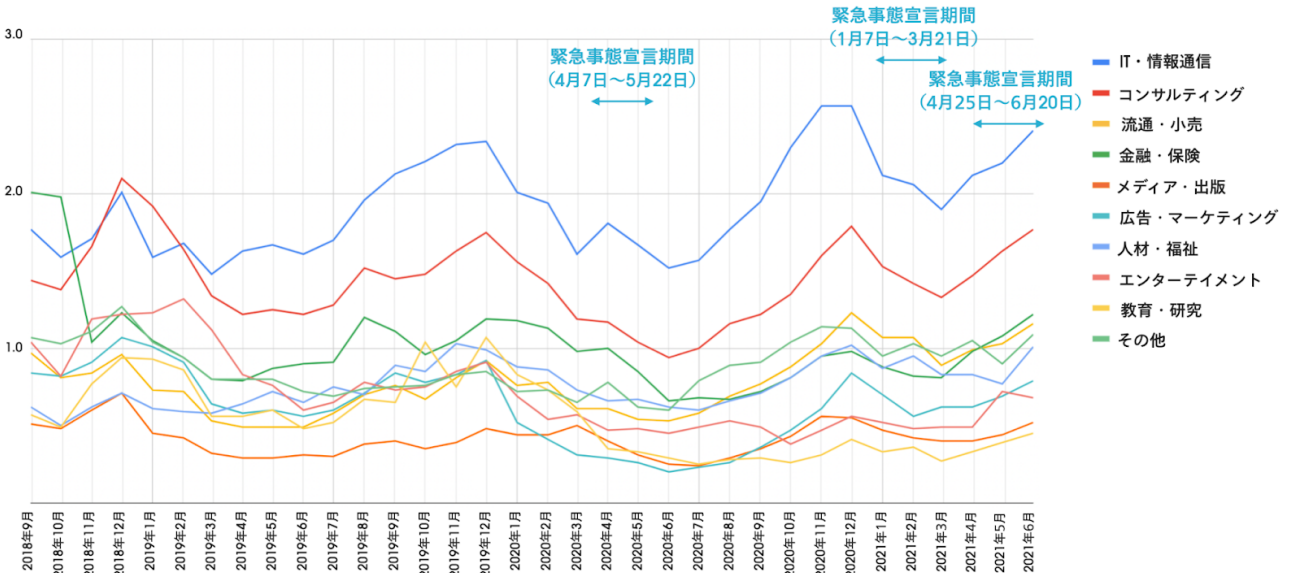
※緊急事態宣言期間：東京都における緊急事態宣言期間を指します。



複数の業種で過去最高水準まで回復

業種別の WANTEDLY 推移を見ると、昨月から下落した業種はエンターテインメントのみで、ほとんどの業種で増加し、特に IT・情報通信、人材・福祉では過去最高値に次ぐ高ポイントを記録しました。

業種別 WANTEDLY 推移



2021年6月時点の WANTEDLY の業種別ランキングは以下の通りで人材・福祉業界が対昨日比 131%と大幅な伸びを見せました。WANTEDLY が 1 倍を割り込んでいる業種においては募集数に対して応募人数が超過しているため、該当業種のスタートアップ企業は採用しやすい状況にあると思われます。

表1：業種別 WANTEDLY ランキング (21/6月)

No.	業種	WANTEDLY	対昨日比
1	IT・情報通信 -	2.41	110%
2	コンサルティング -	1.77	109%
3	金融・保険 -	1.22	113%
4	流通・小売 -	1.16	113%
5	人材・福祉 -	1.01	131%
6	広告・マーケティング ↑	0.79	114%
7	エンターテインメント ↓	0.68	94%
8	メディア・出版 -	0.52	118%
9	教育・研究 -	0.45	115%

デジタル人材 WANTEDX の最高値をコンサルティング業界が更新

表 1 より IT・情報通信業を除き、募集の対象職種をデジタル人材に絞った業界別 WANTEDX を算出したところ、デジタル人材の WANTEDX はエンターテインメント業界と教育・研究業界を除き対前月比で増加を記録。デジタル人材 WANTEDX の最高値を、初めて2ポイントという大台を記録したコンサルティング業界が更新。対前月比 161%と大幅に伸長したのは表 1 同様人材・福祉業界で、デジタル人材が引っ張る形で業界全体が回復しているように捉えられます。

表2：業種別デジタル人材WANTEDXランキング（21/6月）

No.	業種	WANTEDX	対前月比
1	コンサルティング -	2.00	109%
2	金融・保険 -	1.64	115%
3	流通・小売 -	1.24	112%
4	人材・福祉 ↑	0.92	161%
5	エンターテインメント ↓	0.83	98%
6	メディア・出版 -	0.70	113%
7	広告・マーケティング ↑	0.60	133%
8	教育・研究 ↓	0.57	88%

※デジタル人材定義：「エンジニアリング」「PM・Web ディレクション」「デザイン・アート」の3職種で Wantedly に登録している人を指します。

不動の首位の宮崎県。山形県は初の TOP10 入り

東京都を除いた 46 道府県における WANTEDX に着目すると、最も大きく伸長したのは宮崎県の対前月比 131%で、今月で9ヶ月連続首位となります。一方山形県は初の TOP10 入りを果たしました。

表3：道府県別WANTEDXランキング（21/6月）

No.	道府県	WANTEDX	対前月比
1	宮崎県 -	2.82	131%
2	京都府 ↑	2.01	122%
3	大阪府 ↑	1.45	108%
4	神奈川県 ↑	1.12	98%
5	北海道 ↑	1.09	130%
6	埼玉県 ↑	0.98	123%
7	愛知県 ↑	0.83	105%
8	福岡県 ↑	0.81	114%
9	宮城県 ↑	0.38	123%
10	山形県 ↑ NEW	0.24	104%

※非首都圏地域の WANTEDX：該当する道府県を所在地として登録しているスタートアップ企業の掲載募集数を、それに対する応募者数で割り込んだ数を指します。

職種別ではコーポレート系が初の TOP3 入り

2021 年 6 月時点の職種別 WANTEDX に着目すると、コーポレートが初の TOP3 入りを果たし、最も伸ばしたデザイン・アートは先月からひとつ順位を上げ、カスタマーサクセスと同率 7 位となりました。

表4：職種別WANTEDXランキング（21/6月）

No.	職種	WANTEDX	対昨月比
1	エンジニアリング -	5.06	115%
2	セールス・事業開発 -	2.72	114%
3	コーポレート系 ↑	1.99	102%
4	コンサルティング ↑	1.95	105%
5	メディカル系 ↓	1.94	90%
6	PM・Webディレクション -	1.93	112%
7	デザイン・アート ↑	1.49	122%
7	カスタマーサクセス -	1.49	99%
9	マーケティング・PR -	1.16	115%
10	編集・ライティング -	0.74	110%

スタートアップ雇用指数「WANTEDX」について

■ スタートアップ雇用指数「WANTEDX」の定義

【算出式】「WANTEDX」 = (スタートアップ企業が掲載している公開状態にある) 募集数 ÷ (スタートアップ企業への) 応募者数

※スタートアップ雇用指数は上記式の各項を月次で合算して算出しています。

※ 募集数、応募者数ともに、Wantedly で公開された募集、応募した登録者を算出対象としています。

※ スタートアップ企業は算出月から創業 10 年以内の企業を指します。

■ WANTEDX 公開の背景

Wantedly はスタートアップ企業とともに成長し、2020 年の情報・通信業に分類されるマザーズ上場企業のうち、約 7 割にご利用いただくに至りました。世界的には米国、中国を中心にスタートアップ経済が活況を示す中、未来の日本の産業を創る新興企業のトレンドを可視化することで、私達は/当社は日本のスタートアップ経済をより一層盛り上げていきたいと考えています。そのため、2020 年 11 月よりスタートアップ経済

の成長性を示唆する新たな先行指標として、スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を開始いたしました。

ウォンテッドリーは、企業の潜在転職者への認知形成、共感を軸とした人と企業の出会いの創出を提供しながら、入社後の従業員の定着、活躍を支援するエンゲージメント事業を推進しております。スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を通じて、未来の日本の産業を創るスタートアップシーンの盛り上がりを加速させることで、Wantedlyが「はたらくすべての人のインフラ」となる世界の実現を加速させてまいります。

ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS「Wantedly」を提供しています。2012年2月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数42,000社、個人ユーザー数300万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

<会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社
URL : <https://www.wantedly.com>
本社所在地 : 東京都港区白金台5-12-7 MG 白金台ビル4F
代表取締役 : 仲 暁子
設立 : 2010年9月
事業概要 :

300万人以上が利用するビジネス SNS「Wantedly」

- 気軽に会社訪問ができる Wantedly Visit
- 出会いを記録し活躍を共有する Wantedly People

ビジネス向け

- 採用マーケティング
- エンゲージメント Suite